



The Future of Computing

テクノロジーが拓く未来

日本アイ・ビー・エム株式会社
副社長執行役員 最高技術責任者
森本 典繁

As leaders adopt AI, they need to consider three things:

組織のリーダがAIの導入の際に考慮すべきポイント

1

競争力と差別化を図るためにはどうすべきか

→固有の知識やデータを組み込み、自ら管理、成長させる

2

ビジネスのあらゆる局面で活用するにはどうすべきか

→散在するデータを統合し、蓄積・管理できること

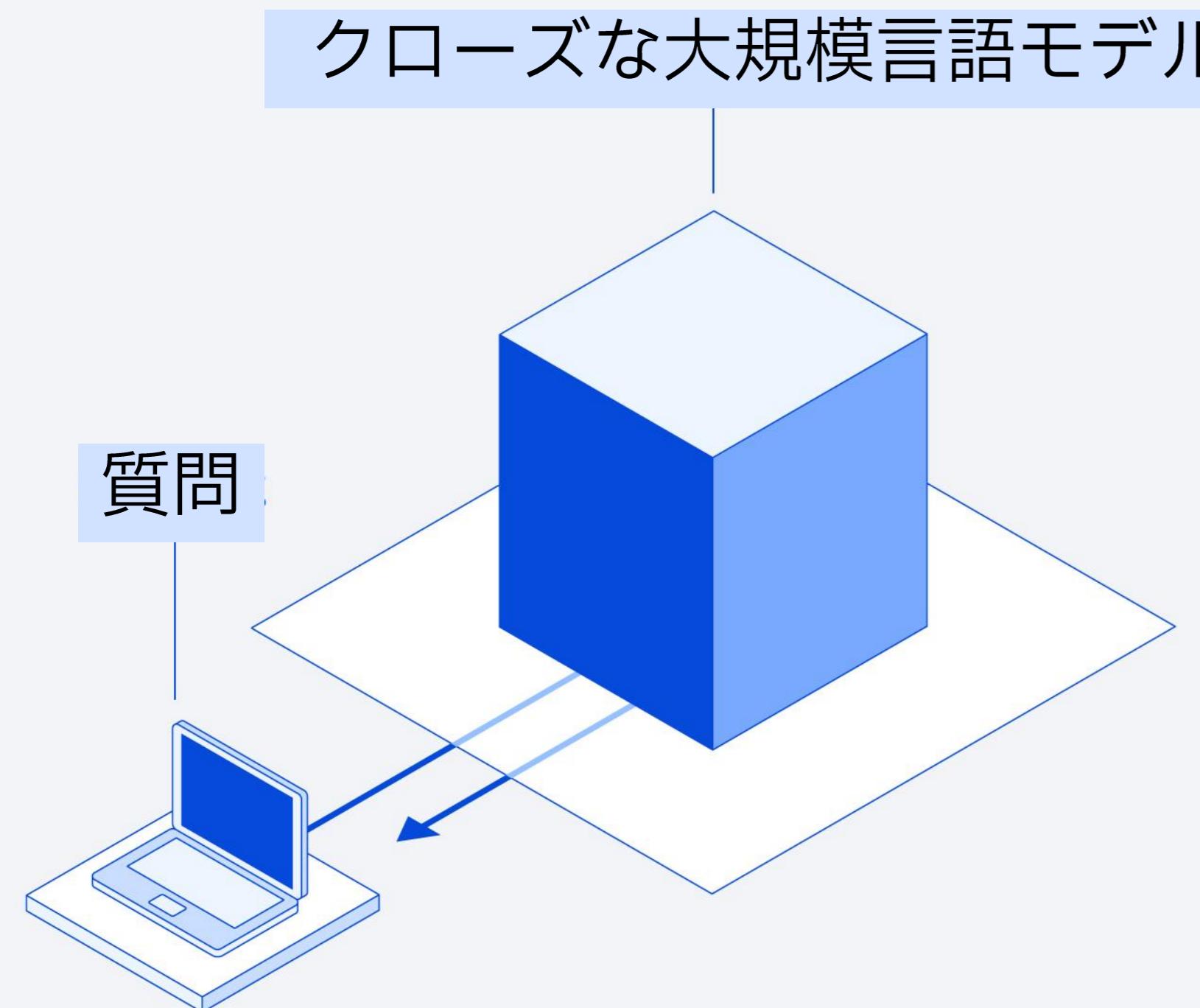
3

信頼できるAIとして発展させるためにはどうすべきか

→公平性、説明性、正確性、透明性を担保、確認できること

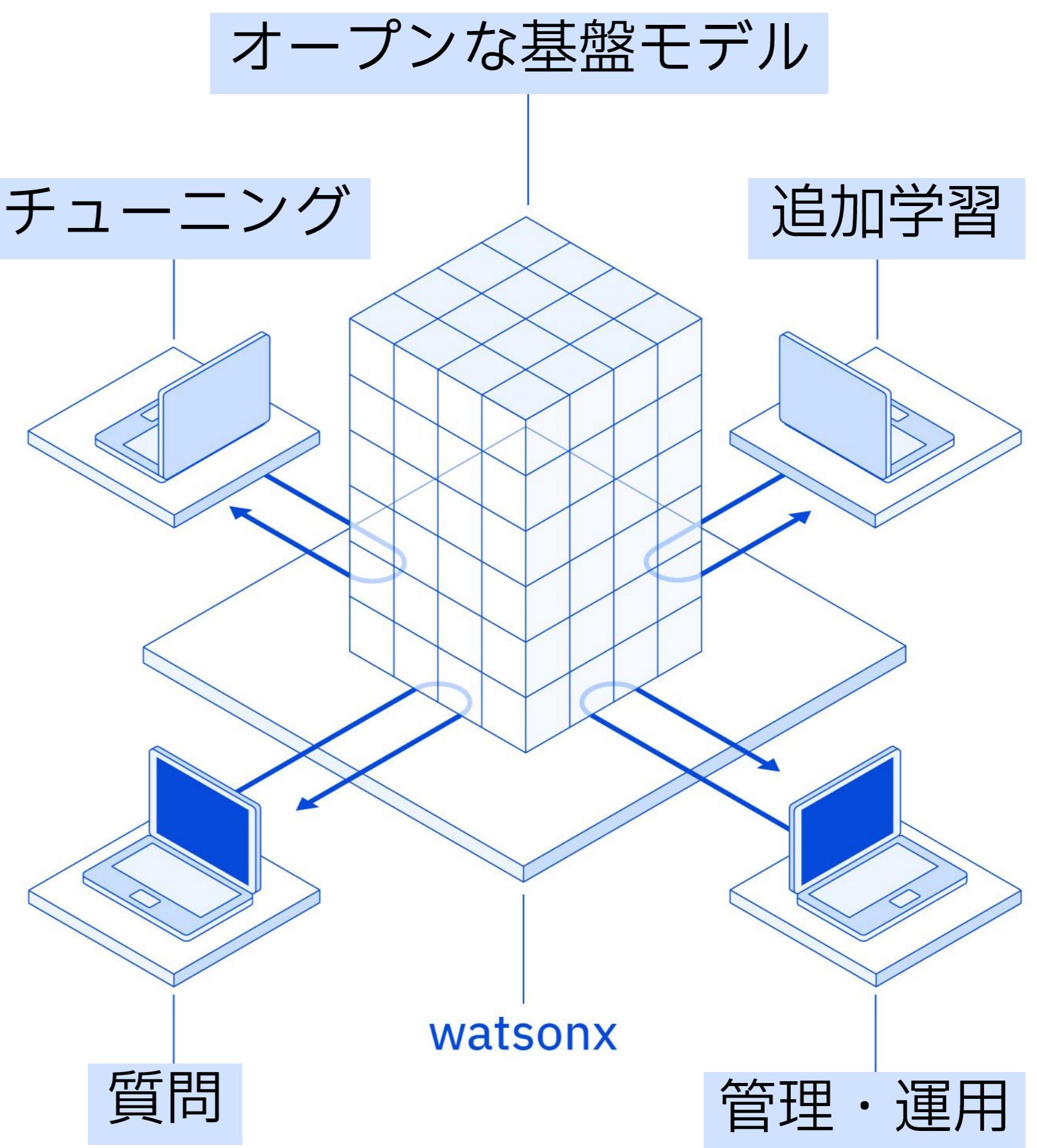
AI user

単一entityによって構成された大規模モデルに基づくAIを
決められた手順とI/Fで利用するアプリケーション



AI value creator with watsonX

最新のアルゴリズムと自前のデータや管理ルールを組込み
学習できるオープンなプラットフォーム



watsonX

The AI Alliance

AIの健全でオープンな発展のため世界の 80 社以上の企業が結集しました

A community of technology creators, developers and adopters collaborating to advance safe, responsible AI rooted in open innovation.



Founding Members and Collaborators*

- Universities
- Startups & Enterprises
- Science Organizations & Non-profits

Total annual R&D funding represented

>\$80B

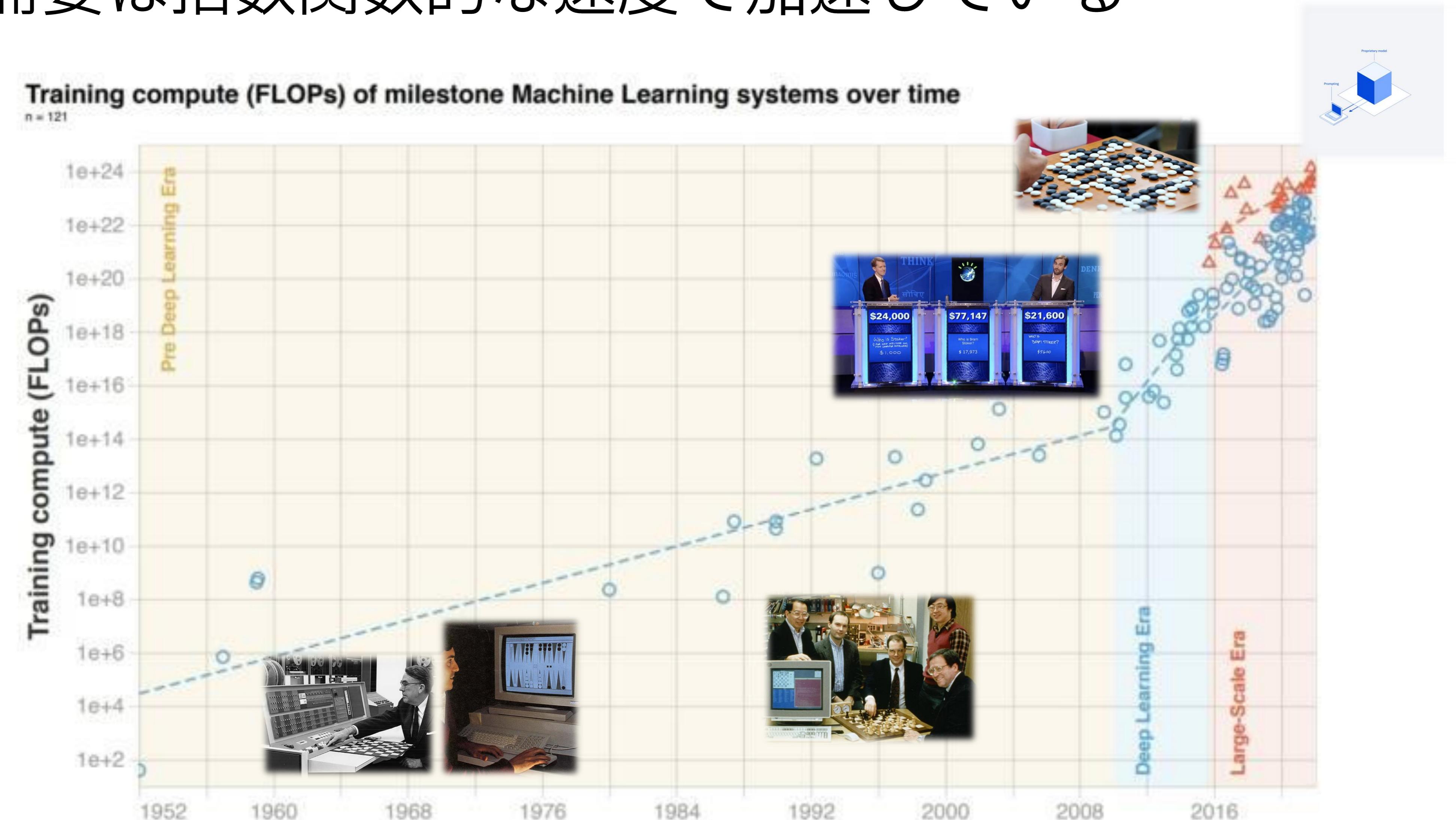
Students supported by these academic institutions

>400,000

Total staff members

>1,000,000

AIの能力は利用できる計算資源の増大と共に進化し、
その需要は指数関数的な速度で加速している



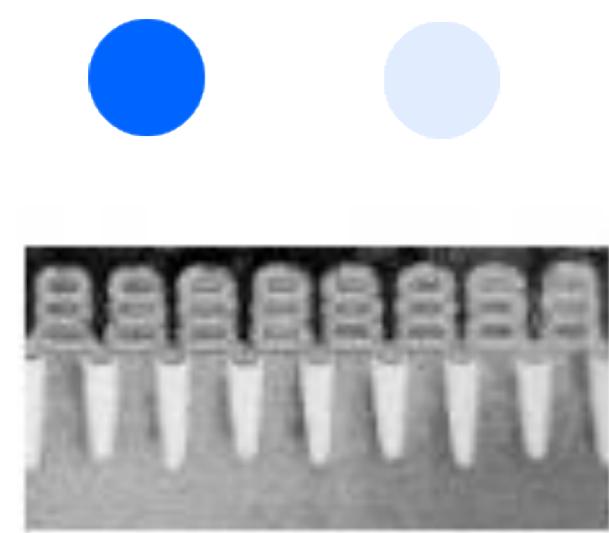
出典: Parameter, Compute and Data Trends in Machine Learning by Jaime Sevilla, Pablo Villalobos, Juan Felipe Cerón, Matthew Burtell, Lennart Heim, Amogh B. Nanjajjar, Anson Ho, Tamay Besiroglu and Marius Hobbahn; 2021. <https://arxiv.org/pdf/2202.05924.pdf> (2023/9)を基にIBM作成

<Projection only, Do not copy>

IBM Vision of Future of Computing

半導体技術の研究の継続

Mathematics + Information

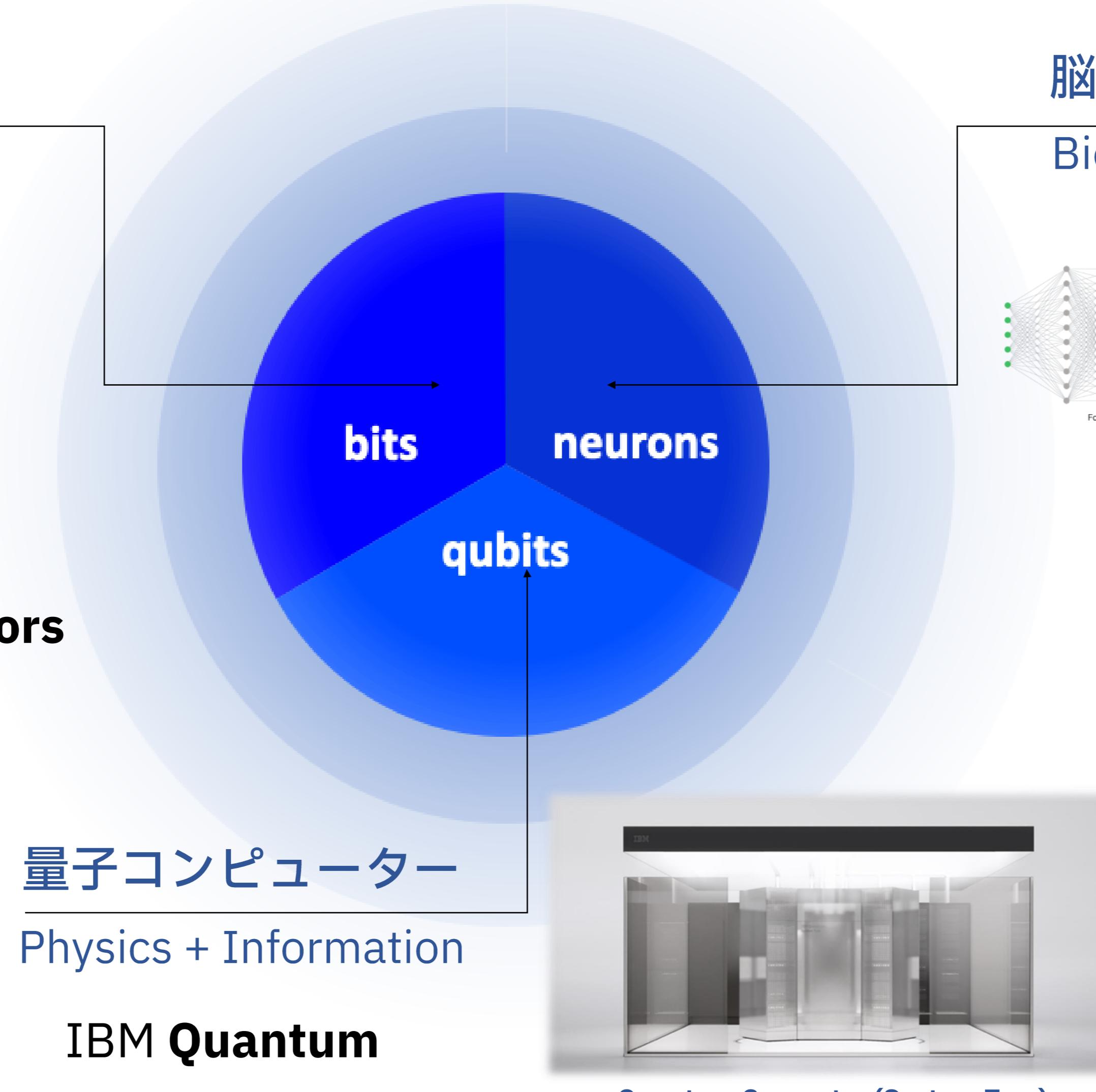


IBM Semiconductors

量子コンピューター

Physics + Information

IBM Quantum



IBM Quantum System の現在



25台以上

Cloud上から利用可能な
IBM量子コンピューターの数
機種は継続更新

50万人以上

IBM Quantum Experience の登録ユーザー数
現在も増加中

2兆回以上

(1日あたり40億回以上)
IBM Quantum上で実行された量子演算の数

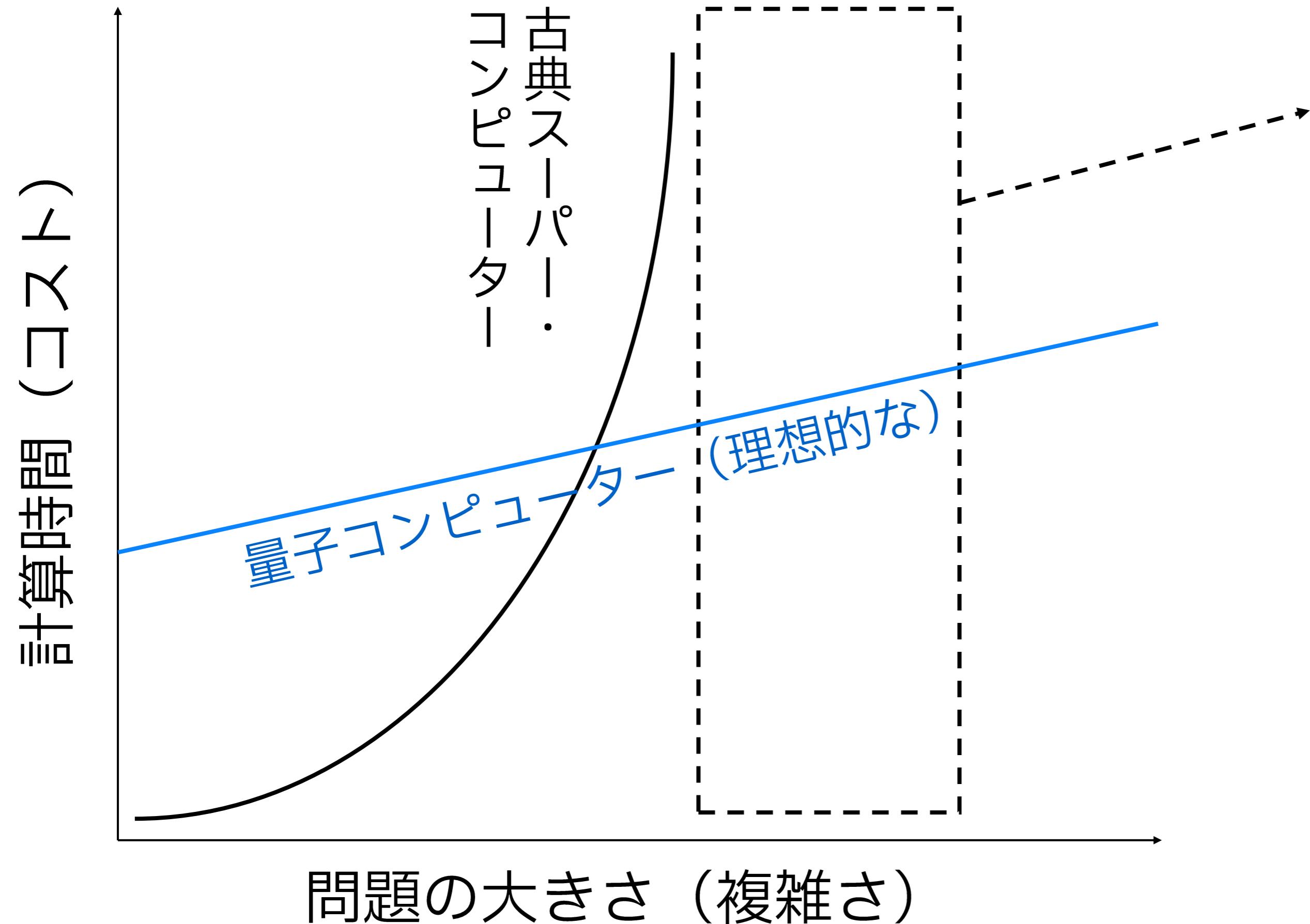
2,190本以上

科学技術論文等の出版物

280社以上

IBM Quantum Networkパートナー数

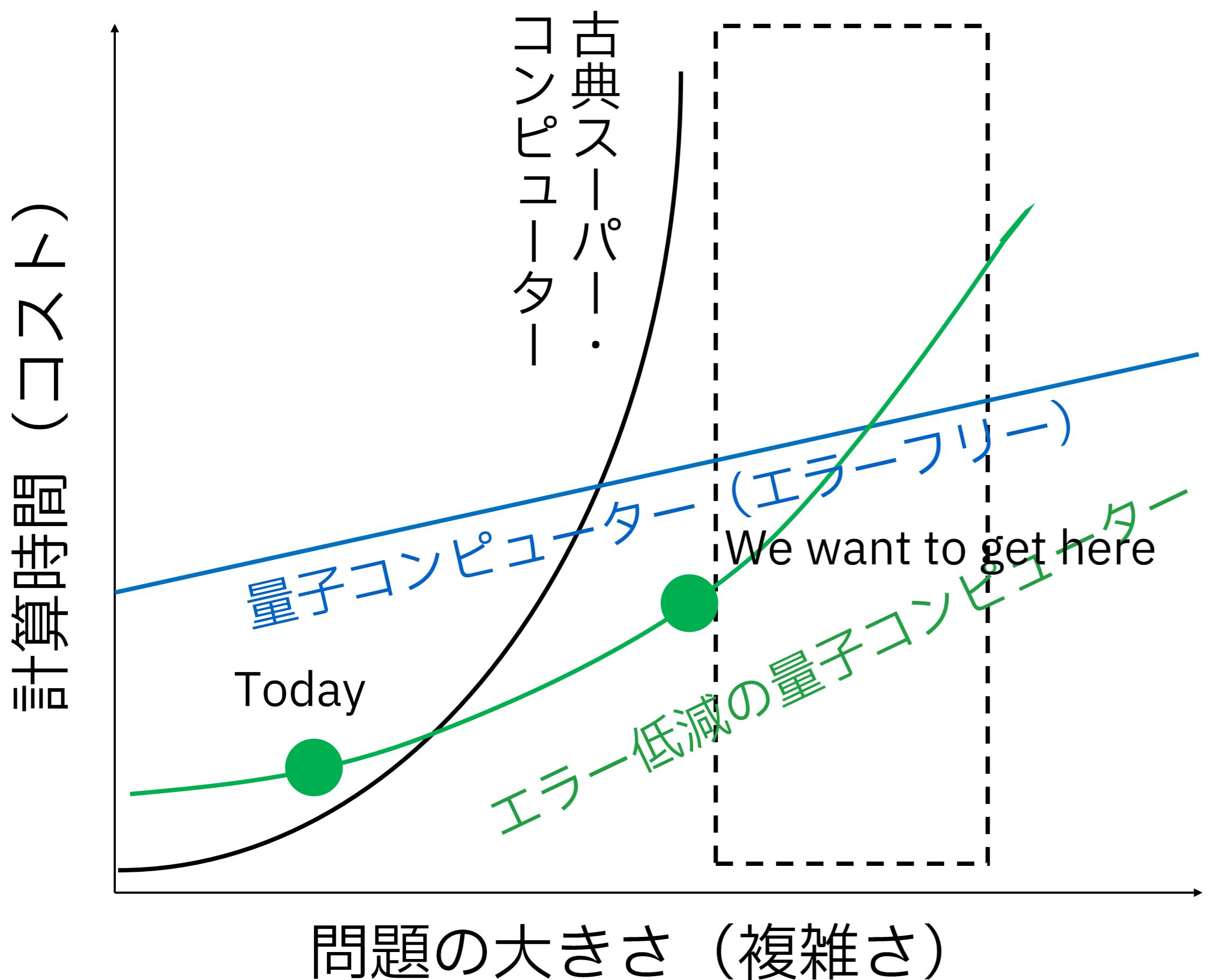
量子コンピューターがもたらす潜在力



問題が極度に大きくなると、
最新のスーパー・コンピューターでも
「事実上解けない」領域があった

理想的な量子コンピューターでは計算
の複雑度による計算時間の増大が大き
く抑えられるため、問題によってはこ
の計算不能領域に到達できる可能性が
ある

量子コンピューターがもたらす潜在力



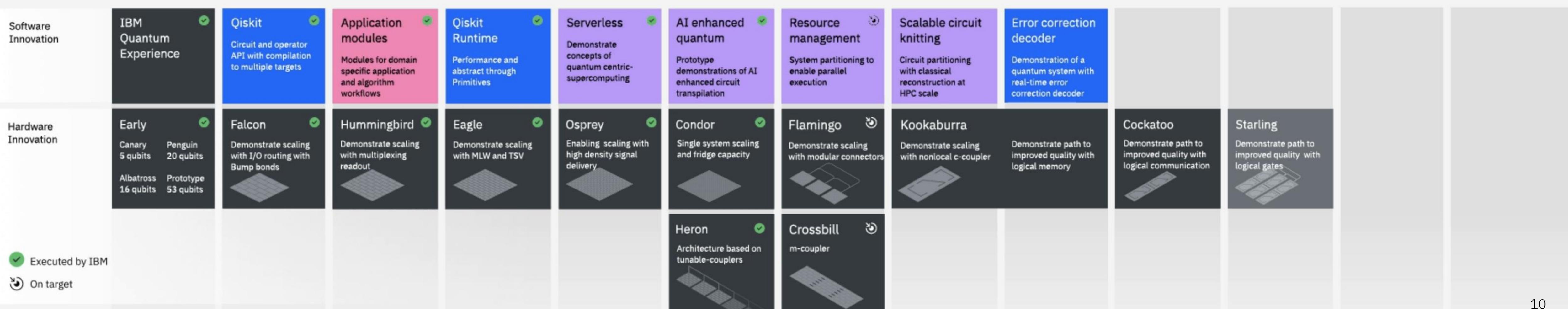
「今後解決可能となる」領域の例

- ・大規模な化学反応のシミュレーション
- ・桁数の大きい素数を用いた素因数分解
- ・大規模な最適化問題の解決
- ・多くの不確定要素を持つリスク解析

IBM Quantum Development and Innovation Roadmap



Innovation Roadmap



古典コンピューターと量子コンピューターの対象領域

古典コンピューターでは
「計算困難」な問題

古典コン
ピューターで
「計算可能」
な問題

指数関数的に計算量が増える問題
最適化問題
分子科学シミュレーション
新材料、新素材開発
創薬、遺伝子工学 等

量子コンピューター

大規模な繰返し演算
(素因数分解 等)

量子力学的シミュレーション
核融合、光合成、触媒、化学反応
メカニズム、、、？？

to be continued

